

北海道博物館基本計画概要

～北海道開拓記念館のリニューアルから北海道ミュージアムへ～

序章 野幌森林公園における野外博物館「開拓の村」をはじめとする自然や歴史・文化と語り遊び学ぶゾーンを見据え、その中核施設である開拓記念館に求められる理念

- 自然、環境、アイヌ民族の先住地といった北海道の特性を活かした博物館
- 持続可能な未来に向けた人間史の博物館
- 堅固なネットワークを基盤とした道内博物館全体の中核的博物館

第1章 計画の策定にあたって

開拓記念館の現状等	基本計画策定の趣旨・背景
<ul style="list-style-type: none"> ○設置の経緯 北海道百年記念事業の一つとして 昭和46年に開館 ○収蔵資料件数 155,000件 	<ul style="list-style-type: none"> ○アイヌ文化など北海道固有の歴史文化等に対する関心の高まり ○道民ニーズの変化と入館者数の減少 ○厳しさを増す道内博物館の活動 ○北海道博物館の基本方針等を示す

開拓記念館のリニューアル

第2章 北海道博物館の設置に向けて

名称 **北海道博物館** (総合博物館としてイメージしやすく、ふさわしい名称に変更)

基本方針

基本的機能の充実した博物館	北海道の総合的な博物館	道内博物館の中核施設
<ul style="list-style-type: none"> ・充実した機能と質の高い活動 ・わかりやすく、おもしろく、ためになる博物館 ・文化創造と地域活性化の拠点 ・道民と連携・協働する博物館 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然、環境を含む未来に向けた人間史の博物館 ・アイヌ文化を保存・継承し、未来に活かす博物館 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の博物館との連携と協働 ・人、モノ、情報のネットワークの充実強化

発揮すべき機能

資料の収集・保存
・先人の遺産の適切な保存
展 示
・わかりやすく、おもしろく、ためになる展示 ・アイヌの歴史や文化に関する展示の充実等
教 育 普 及
・利用者の意見や要望などを反映した事業展開 ・学校教育との連携強化等
調 査 研 究
・道内外の博物館との連携・協働 ・アイヌ文化関係の研究機能の充実等
人 材 育 成
・実習生の実受や共同研究等による人材育成の充実
情 報 化 ・ 情 報 発 信
・情報の共有化と「北海道歴史ギャラリー」の活用
学 習 支 援 ・ レ フ ァ レ シ ュ
・北海道の歴史や文化の「学び」の拠点

具 体 化

取組の方向
展 示 改 訂
・通史展示からテーマ展示へ ・民間企業等と連携した企画展の取組
教 育 普 及 の 充 実
・生涯学習や学校教育等への支援の充実
ネ ッ ト ワ ー ク の 再 構 築
・ICTを活用した情報提供と地域住民等との連携
施 設 の 改 善
・収蔵機能の確保 ・ 利便性等の向上 ・周辺環境の改善
アイヌ民族文化研究センターとの統合検討
・アイヌ文化の調査研究機能の充実
管 理 運 営
・周辺施設との一体管理 ・外部資金の導入・活用 ・住民参加 ・ 博物館運営の評価

基本計画を基に、展示改訂や館内配置、博物館ネットワークなどのプランを策定し、計画的に事業を推進